

2019年12月25日  
リサイクル燃料貯蔵㈱

### リサイクル燃料備蓄センターの新規制基準適合性審査の状況について

- 当社は、昨年12月、リサイクル燃料備蓄センターの「設計及び工事の方法の変更の認可（設工認）」の審査終了を2019年度下期として全力で取り組むことを公表いたしました。
- しかしながら、その後の事業変更許可の適合性審査において、2月に「耐津波設計」で審査方針が変更されるとともに、4、5月の「施設関連の再確認」及び、8月の「耐津波設計」の審査で新たな要求を受けたことにより、当初の予想より審査に時間を要する状況となっております。
- その後、10月の「耐津波設計」の審査会合において、規制委員から審査を円滑に進めるための提案が出され、その提案を踏まえた対応により、懸案となっていた「耐津波設計」についての説明を一通り終えるとともに、審査全体を取りまとめる段階に進捗してきております。
- 一方、「設工認」については、上記の適合性審査の影響を受けて4月からヒアリングが進んでいないことなどから、その審査終了の時期について、現時点で具体的な見通しは得られておりません。
- このため、「設工認」の審査終了時期については、事業変更許可の審査の進捗を踏まえながら、見通しを立ててまいります。
- 当社といたしましては、引き続き安全を第一義に、事業開始に向けて全力で取り組んでまいります。

以上